

## 会 議 録

会 議 名	第3回橋本市長期総合計画審議会		
日 時	平成29年2月1日(水)午後1時30分～		
場 所	橋本市教育文化会館4階 第5展示室		
出席者	委 員	濱田 學昭 乾 幸八 矢野 佳世子 松尾 忠子 宮崎 卓郎 藤森 弘之 岸田 昌章	野口 隆 澤村 嘉津実 西山 嘉造 小弓場 小夜 寺本 伸行 森川 嘉久 藤原 良章
			堀内 秀雄 岡本 仁三 渋谷 年男 芋生 孝治 苅田 一郎 葛原 芳秀 堀内 恵美 【出席委員：21名】
公開状況	公 開		
傍 聴 者	1 名		
次 第	1. 開会 2. 議事 (1) 基本構想の検討について 3. 次回の審議会に向けて 4. 閉会		
資 料	資料1 基本構想の検討について 資料2 市民意識調査結果 資料3 ワークショップ開催結果 資料4 団体意向調査		

## 1. 開会

- ・事務局より開会の挨拶。
- ・本日、阿部委員、松本委員が欠席となります。また、濱田会長については他の会議の都合、遅れて出席となります。
- ・事務局より資料確認を行う。
- ・事務局より長期総合戦略審議会の開催にあたり、本日は委員数 24 名のうち 21 名が出席で、過半数の出席により本会議が成立していることを報告した。

(事務局) 副会長より議事進行をお願いします

(副会長) 今回の議事については非公開とする案件を含まないために公開とさせていただきますよろしいですか。

<「異議なし」の声あり>

(副会長) 異議なしということですので、公開とさせていただきます。本日の傍聴人につきまして事務局から報告願います。

(事務局) 本日 1 名の傍聴者が来られております。

(副会長) 会議録の署名委員に苅田委員と松尾委員を指名する。

## 2. 議事

### (1) 基本構想の検討について【資料 1】

- ・事務局が資料に基づき説明。

(会 長) 当審議会は比較的人数の多い審議会となるため、できるだけみなさまの意見をお聞きしたいとの事務局からの願いもありますので、これから各委員より、感想やご意見を頂戴したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(委 員) 基本目標にある「攻める」「守る」「育てる」とあるが、守ることについて考え、子どもたちに残せる住みやすいまちづくりを考えていけなければならない。

- (委員) 企業誘致においては、もっと若者が働ける企業を誘致する。少子化問題を解決する。
- (委員) 商工会議所では地場産業、一般企業、観光産業に力を入れて、橋本市の活性化について解決を目指しています。  
橋本市は紀の川が大事な観光資源だと思います。また、恋野あじさい園、有吉佐和子の小説など紀の川は全国的に認知度が高い。また、あやの台ICからも近いことから、京奈和道の3つのICを使って橋本市に来てもらう魅力づくりが必要である。それから、紀の川の花火大会、高野口からの町石道なども有望な観光資源である。
- (委員) 地域の高齢化、若者の流出、空き家の増加など進む中、空き家を活用した人の誘致を行い、住んでよかった住みたくなるまちづくりを進めてほしい。
- (委員) 専門部会、ニューリーダー部会の意見の資料では、教育関係の意見等があまり見受けられないが教育関係の委員は入っているのか。基本構想の検討(P.44)にある市民アンケートの結果から、教育環境が充実したまちと一言入っている程度なので、もう少し強くインパクトのある文言にできないか。  
市民憲章にあるスポーツに親しみとあるので、スポーツツーリズムなどからの観光客の増加や生涯学習、生涯スポーツ等の文言も入れられないか。
- (委員) 中高生アンケートの結果から交通環境が良くない、働く場所が少ないなどの意見があることから就労環境の整備をひとつのポイントとして計画してみてはどうか。
- (委員) 京奈和道路ができて、関空や大阪とも近くなったので、観光に力を入れたらどうか。  
国道371号のトンネルができれば、河内長野よりも安い住みよい家が持てるようになる。  
若者に市内に住んでもらって市外に働きに行ってもらえるのか、または市内の雇用の場を増やすのかなどの方向性出す。

- (委員) P. 19 の新規企業誘致には奨励金を出しているのか教えて欲しい。健康寿命を延ばし、介護に頼らない取組をして、みんなが元気で優しくあたたかな町にして欲しい。
- (委員) 和歌山で生まれて、橋本に来て 47 年住んでいる。環境が良くて住みやすい。昔、本町商店街は上下 2 つあって賑やかだった。京奈和道がつながっても、魅力がないと専用道路から下り来てくれない。和歌山の北東の玄関口としているので、橋本駅前を活性化して元気な町にして欲しい。
- (委員) 人口の減少は、日本全体の人口が減る中で橋本だけが免れることはできない。経済成長時代のような発展は難しいが、心豊かなまちづくり、市民協働の視点が重要である。
- (委員) 基本構想の検討 (P. 16) の年齢別人口移動の経年変化のデータが欲しい。  
基本構想の検討 (P. 17) 医療福祉の従業者が多いのが特徴だ。基幹産業として強化すべきは、医療福祉産業ではないか。このことから、あやの台には神戸のように大きな福祉の村を作った方がよいのではないか。  
基本構想の検討 (P. 37) の各項目の強みと弱みは整理が十分ではないので、再整理が必要だと思います。今回の計画は、定住が大きなポイントではないか、基本構想の検討 (P. 47) の人口推計では、人口減少の程度を緩やかにする計画となっている。解決方法は 2 つある。市内で働く場所を増やすと大阪に働きに出る。大阪に働きに出る方法は、広域交通体系の整備などの大幅な改善は難しいので、市内での就業の場を増やすために福祉と介護で働く場を作るべきではないか。  
基本目標にある「攻める」という言葉は、どこを向いて攻めるのかがわかりづらい。また、基本構想の検討 (P. 52) の都市構造図では、都市拠点とあやの台の工業地の開発拠点がわかりづらい。基本構想の基本目標は、人口など将来の目標数値を出すのが正しいのではないか。
- (委員) 和歌山の出身で高野口に住んで 56 年になる。住むには良いところであり、J R 和歌山線で通勤していた。都市構造図を身のあるも

のにするのが重要であり、身のあるものにするには、職員も市民と一体となって頑張ってもらいたい。

若者が大阪に働きに行かなくとも良い職場があり、若者が希望を持てる橋本市にして欲しい。

(委員) 母子保健推進委員をしており、赤ちゃんのいる家庭訪問の仕事している。繋がりが無いところに行って話をするのが難しいので、普段から若い人と交流できる場が欲しい。

企業誘致をしても、ある程度大きな会社で働いて欲しいという本音がある。今の市内の雇用状況では厳しい。

観光に力を入れて欲しい。観光資源は隅田八幡や古墳などたくさんあるので、ちょっと整備して欲しいと頼みにいくとお金がないというのでは困る。市も汗をかいて努力して欲しい。

(委員) 基本構想の検討(P.52) 農地や林地が90%以上と大きな面積を占めていることが分かります。また、団体ヒアリング結果で森林組合の意向の中で担い手不足や高齢化の問題があります。今後どのようにするのか緑や農地の対策を考えて欲しい。

(委員) 「攻める」「守る」については財源確保が必要となります。人口減に歯止めをかける定住移住政策が重要ではないか。

また、今後シティセールス課が担当すると思うが、マーケティング志向が重要。本市と立地条件など類似している千葉県流山市の事例では、平成17年からの5年間で1万1千人以上の人口が増加している。これは民間出身のマーケティング担当者を雇用して具体策として、「母になるなら流山、父になるなら流山」と言うキャッチフレーズで30歳代の働き盛りの人を定住させてきた。行政では企画しにくいとがった政策を行い、市民には少し我慢してもらう事も重要である。橋本も2013年の東洋経済には、子育て政策によって関西圏で2位になったことがあることから、このような要因も含め検討していければ良いと思います。

(委員) 東の玄関口としては、県内でも特殊な市であり、色々なことが試みられる場所であると思います。都市の活力としては、人口を増やすこともありますが、全国的に減少するので減り方をどうするのか、また、働ける人口をどうするのかである。

紀北地域のニュータウンとして色々やってきた。大阪への通勤

圏でもあるので、空き家等を活用して新しい人に入ってきてもらうことが大切である。

働く場については、企業誘致や農産物施設等のオートメーション化により新たな雇用につながらないことから研究機関への誘致もひとつあると思います。また、市内で生活されている方の一次産業者の収入を上げることも重要であるが、農林事業は市だけで行うのは不十分なので県でも取り組んでいく。今後、交通機関が良くなり、物流の流れや通勤しやすくなることから選択肢が増え市外で働くことも考え安心して暮らせるまちづくりが重要である。

(委員) 京奈和道や企業誘致も大切ですが、既存の経済や地元企業を活性化し、まちを元気にする夢のある計画にする。

(委員) 人口計画と土地利用計画があるが、中でも人口の減少をあまり暗く考えず、年をとっても元気な老人などの高齢者の働く場を確保するなど人口構造を考える。

コンパクトシティとしてこれからは、小規模で多機能というのにニーズがある。市民のニーズを活かした計画としてアンケートでは安心、安全や医療関係で従事する人が多いことから、これらのことも踏まえた計画づくりにしないといけない。橋本市の立地を活かした都心に近い、起業しやすいなど多魅力で多機能な計画にし、「攻める」「守る」「育てる」について、もう少しロマンがる文言にしていきたい。

(委員) 文言として「攻める」はあまり良くない、前向きな活動となることがとても必要である。人口は減少してきているので産業の雇用も大切ではあるが、どのように人を呼び寄せるかが問題である。また、職員の課題として定住や雇用、農業に対する指摘が少ない。農業の6次産業化を含め地場でできること農業従事者でも考えないといけない。

基本構想の検討(P.38~39)など、具体的に書かれていない。生産業の創出サポートや観光まちづくりなど、色々な産業に着目してやってほしい。例えば奈良県高取町では、65歳以上の定年された方を中心に色々なイベントなどをやっており、お金がないからできないでなく、もう少しこのビジョンの中では「仕事づくりや都市の魅力づくり」「若い人の意見の取り入れ」「自由に意見が言

える場づくり」など具体的に検討していただきたい。

(委員) 橋本市は、紀の川を挟んだ夜景がとてもきれいなことや、国城山を活用した山遊びは子育て世代にも良い。整備するお金は呼びかけなどの方法はある。

(会長) いろいろな意見を出して頂いてありがとうございます。橋本市でよく他の会議でも議論に出てきますが「緑豊かで暮らしやすいまち」については抽象的でわかりにくい。目標がないので目に見えて感じられるような取り組みが必要である。例えば東大阪では、「ラグビーのまち」「下町ロケット」など市民が目に見えてわかってきたことがある。橋本市が食べていけるようになるには、「今治のタオル」「鯖江市のメガネ」「岡山のジーンズ」のように世界市場とつながりがもてるような地場産業や新しい資源を活かして、失敗を恐れず大きく育てることが課題だと思いますので、そのような事を基本計画の中で組み立てていければと思います。

(委員) 前向きな気持ちは大切だが、絵に描いた餅にならないようにする。色々なニーズがあって何に重点的に取り組むかが必要である。地域の人のやる気、年齢に関係なく気持ちの若さ、キャリア、若者と一緒にやること、引っ張っていく力が大切である。

(会長) 他にご質問等ございませんか。ないようですので、事務局にお返しします。

(事務局) 貴重なご意見等ありがとうございます。本日いただきましたご質問やご意見、ご感想については、内容を整理し回答書として皆様にご報告したいと思います。本日は時間の関係で議論することがこれ以上できませんが次回もありますので、よろしくお願い致します。

(会長) 事務局からあらためて回答があるとのことですので、本日はこれで終了したいと思います。

### 3. 次回の審議会に向けて

(事務局) 次回の審議会は4月中旬を予定しておりますが、できるだけ早い

段階で決定し委員のみなさまに通知させていただきたいと思えます。

#### 4. 閉会

(事務局) それでは、これをもちまして第3回橋本市長期総合計画審議会を終了させていただきます。長時間どうもありがとうございました。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

【会議録署名欄】

会長 菅田学昭

委員 荻田一郎

委員 松尾忠子